

# 予算審査特別委員会 総括質疑

深見 迪 議員

## 「子育てサポート事業」提供 会員の増員を

**問** 「子育てサポート事業」は、社会福祉協議会で実施しているが、会員制の援助活動で、子育ての援助をしてほしい人（依頼会員）と子育ての援助ができる人（提供会員）が会員登録して、お互いに助け合いながら、地域の子育て支援を行う事業である。

現状は、子どもを預かる側のボランティア提供会員が7名で、事業はあっても運営に苦慮している実態である。町長が、「体制をまず整わせることが大切だ」と言ったが、手をつくとして提供会員を増やすことが急務と考えるがどうか。

**答** 提供会員の不足というのは喫緊の課題だと認識している。提供会員を充足していかなければ、子育て支援の面の広がりには難しい。

令和3年については、社会福祉協議会とも協議しながら、できるだけ早期に講習会を開催し、提供会員を増やすPRを含めて、こういった取り組みが必要なのかということをお互い共通認識を持ちながら対応していきたいと考えている。

## サルボ展望台補修の進捗状況を聞く

**問** サルボ展望台の進捗状況について聞く。

併せて、地域では駐車場の拡張についての話も出ている。あの場所は、結構車が道路用地にまで入り込んで、大変危険な状況もある。国道の延長線上に、もう国道でなくなった空き地があるが、そういったところを広げて、ぜひ、その駐車場の拡張を含めて、サルボ展望台の進捗状況を聞きたい。

**答** 展望台の遊歩道を含めて、昨年度から北海道の方で整備をしている。今年度については、12月中旬から工事が始まり、今月中（3月）には終わるといった見込みと聞いている。

駐車場については地域からも色々

要望が出されているが、これについては公安委員会の方から危険なところであるという指摘を受けていて、引き続き拡張できるかどうかを含めて管理機関と相談していきたい。



補修されたサルボ展望台周辺

## 備荒資金6億8千万円の取り崩しの用途は

**問** 財政調整基金について5億9千万円の取り崩しがあって、その使い道が一覧表で出ている。ところが備荒資金の6億8千万円、これも取り崩しがあるが、これは何か主だった使い道というのはあるのか。

**答** 財源不足を補つためということとで支消（取り崩し）を考えている。

結果的に町税、地方交付税等々、補助金も含めてだが、すべて調整したうえでなおかつ足りない部分について財政調整基金、備荒資金とすることで補ってんしている、充当しているということである。

備荒資金については特に何に使うという明示はしてないので、それらについては財源不足に充当している。補助金の伴わない、起債の借上げができない事業というのは、ソフト事業含めて本町は6億円ほどあるが、それらについては一般財源に充当していくが、財源不足が生じてくるので、それらに充当していくということである。起債の償還についても、そういった財源に充てていくということとで備荒資金は考えている。

深見 迪 議員

「憩の家かや沼」について町民の意見を聞くつもりはなにか

**問** 本町の10カ年総合計画を作成中だが、たくさんの町民アンケートと意見あるいは要望事項とか出ていた。あれだけのことをやれるのだから、議会でも賛否が拮抗している状況なので、憩の家についても重ねて町民の要望を聞くつもりはないのか。

**答** また、仮に今後経営状態が悪化した場合に、町がいろいろな形で、また、援助をして何とか続けてくれというか、町がどのような形で補てんというか、態度で臨むというのか。見通しを聞く。

**問** 今後町民の声を聞く予定については、これまで同様考えていない。できあがったものについて、この先全くそういう場面がないとは言えないが、この段に及んで、どんなものがあるのかという話ではないかと思っている。

**答** 経営悪化等あった場合については、協定書の中でも町と指定管理者

が協議して対応するようになってくる。その時に具体的に出てくるのは、おそらく指定管理料の支出あるいは指定管理料の増額ということになるかと考えている。

本多 耕平 議員

移住促進事業は町民に見える政策であるべき

**問** 令和2年度は地域おこし協力隊による「馬と共に暮らせる町」、令和3年には「馬を核とした地域間交流事業を」を進める政策が打ち出された。移住促進と馬との関連はどのようになっているのか。また、事業実績評価は総括しているか。

**答** この事業が町民に見える、理解される政策実現のため一貫性のある事業展開を進めるべきと考える。

**問** 事業の中核となる引退馬の預託については、令和3年度において10頭を予定している。これら、道の乗馬クラブ等で活躍し、引退した馬には、関係人口を増やす要素が多々ある。この点を活かし、関係者

を本町に招くなどの取組みを進め、魅力を発信しつつ移住にも結び付けたい。  
そのステージとして、来訪者からの評価が高い町営牧場の一部開放や、阿歴内馬事公園の整備なども視野に入れ事業を推進して行く。



めん羊事業の進捗状況を問う

**問** 令和2年従来の育成牧場でのめん羊飼育は、観光と福祉の両面から行っていたが、新規事業として550万円を予算化して新たな事業展開をしてきている。

**答** 令和3年、羊の安定供給とブランド化を目指すとして751万円の新規事業の予算を計上しているが、今

年度の新規事業内容は何か。  
本町の名産（ブランド）を目指すとすれば、知識、技術を習得している専門飼育員を養成すべきではないか。

**答** コロナ禍で飲食業の羊肉需要が細り、繁殖を控えている。昨年からは新たな品種として「フライスラード種」の繁殖に取組んでおり、出生率の高さが確認できた。今後、肉質を確かめ、問題がなければ増産の一助としたい。経験豊富な人員の確保に苦慮してきたが、令和3年度において、2名の経験者が確保できた。飼育のほかに、羊毛加工や皮革加工の知見も持つ人材であることから、めん羊事業の推進に結び付けたい。





本多 耕平 議員

野犬掃討の実態を問う

**問** 住生活対策で野犬掃討車購入2百万が計上されているが、町内野犬被害の実態、掃討の実態、掃討の実態数はどの程度か。また、ごみ処理場の野犬ストック場の実態調査はしているか。住民課独自の車購入ではなく農林課林政係の有害鳥獣駆除車と共同利用を考えてはどうか。特に野犬掃討は毎日の事業ではないと思うがどうか。

**答** 野犬掃討を目的に車輛を購入する。過去3年間に捕獲された「のいぬ」は、令和2年の2頭のみである。購入する車輛については、市街地を中心とした野犬掃討に供用する。  
野犬と「のいぬ」の厳密な区別は難しいが、各関係課が協力して町民の安心と安全確保に努めたい。

固定資産税賦課徴収の在り方を問う

**問** 近年、離農・休農で住宅、牛舎等未利用施設が散在しているが、税の賦課徴収は所有者との話し合いで決定するのか、それとも行政として賦課条件があるのか。

未利用施設の屋根をはがすとか、窓をはがす等、景観上このまじく無い物件が散見される。今後の施設利用のあり方を所有者と協議した上で賦課徴収を決定してはどうか。

**答** 行政としてルールに則り賦課業務を行っている。担当者2名が随時実態を調査し、現状に即した課税となるよう努めている。登記情報だけでなく、離農などの地域情報も入手次第調査し、現状に合った課税を行いたい。

防災対策を問う

**問** 地球温暖化が進む現代、各地でも近年2回の水害が発生している。本町も今一度防災、特に、水害に対する町長の所見を聞く。

市街地における内水面洪水対策

は、安心安全なまちづくりの一步で緊急対策は理解するが、恒久対策事業はどのように進んでいるのか。

**答** 度重なる避難勧告、避難指示を経験し、内水氾濫だけでなく、抜本的な水害対策が求められていると認識している。対策に必要な情報収集の範囲は、関係河川だけでなく地形や気象、過去の農地整備や社会インフラの設計などにも及ぶ膨大な量である。現状で取り組める河床の浚渫、排水用ポンプ車の増車、堤防の強靱化に関する要請などを継続する。また、流域治水に参加し、全体の中の治水対策も進め町民の安心と安全の確保に努める。



排水ポンプ

鴻池 智子 議員

へき地保育所への給食実施の進捗状況は

**問** 2月末に試験的に給食提供をしたとの話を聞いたが、園児、保護者からは喜びの声が届いている。へき地保育所への給食実施の進捗状況を聞く。

**答** 保護者に提案説明をし、理解を得たので、へき地保育所2カ所に、合わせて26食試験提供をした。できるだけ保育リズムに影響のないように、4月1日から提供できる。



塘路ひしのみ保育園 おいしいね

鴻池 智子 議員

役場公用車にドライブレコーダーの設置を

**問** 最近、町の使用車による事故が報告されている。職員の交通事故防止に対する意識向上と、自らの生命を守る対策として、公用車にドライブレコーダーの搭載が必要ではないか。

現在何台の公用車があるか。その内何台にドライブレコーダーが搭載されているか。

特に町民が乗車する度合いの高いデイスービス送迎車等には、優先的につける方向で取り組んではどうか。

また、ドライブレコーダーをつける車で、町職員が安全意識を持って運転できるのではないか。前向きな検討をしてはどうか。

**答** 公用車66台中、14台に搭載している。今後可能な限り搭載していきたい。

ふるさと納税返礼品の内訳と使い道について聞く

**問** 町が進めているふるさと納税の返礼品にどのようなものが使われているか。

また、返礼品とその諸経費を除いた分を、町の収入として町民のために使用できる旨の説明があったが、本町の主な使用目的を聞く。特に人気の返礼品は何か。今後、特産品として期待できるものはあるか。

自分の町の返礼品が喜ばれていることを町民が知るにより、町民の自信にもなり、標茶にはこういうものがあるというアピールにもつながると思う。広報等にも載せ、積極的な周知をしてはどうか。

**答** 返礼品として肉製品、チーズ、木製品、手作りクレヨン等々、数多くの事業者が登録している。羊も安定供給と標茶のブランド化をめざしている。

寄付額の約半分が、「馬と暮らせる町標茶」に賛同して寄付をしてもらっている。

類瀬 光信 議員

憩の家の指定管理者公募は手続上不適切ではないか

**問** 茅沼地区観光宿泊施設(憩の家)の指定管理者を公募した際、議決していない指定管理料3年分の金額が公表された。本来、債務負担行為の議決が必要な事案であり、公表は不適切ではなかったか。また、議決機関を無視している点も看過できず、議会に対してこの顛末と再発防止策を報告すべきだ。

町ホームページの記載は一週間で削除されているが、このことは、応募を検討した者の間に不公平を生じさせた可能性が高い。指定管理者の追加募集を行うべきではないか。

**答** 重要な判断要件なので表示した。しかし、債務負担行為の決定も議決も行われていない金額を明示することに疑義が生じたことと、議決機関への配慮として削除した。削除によって不公平があった可能性は否めないが、指定管理者の決定を覆すものではない。また、一連の経緯について、改めて議会へ報告することは考えていない。今後は、当然

のことながら研究検討しながら手続きをすすめる、再発を防止したい。

高額ふるさと納税に応募した結果はどうなったか

**問** 大手衣料通販会社の元社長が、8億円をふるさと納税するとし、全国から希望を募った。結局、応募した自治体すべてに500万円が寄付された。管内では、釧路市、釧路町、弟子屈町が寄付を受けたとする報道と、標茶町を加えた4自治体が対象となったとする報道があったが、実際はどうか。応募した自治体は、8億円が1か所に寄付されると受け止め、その用途を提案したと聞く。本町は、何に取組む予定であったか。

**答** 応募締切を見落としていたため、結果的に寄付は受けていない。「憩の家かや沼」を再生するために応募した。情報については、新聞社から照会があり、こちらから申し込んだ旨回答した。この件に関しては、町民に与えた影響が軽微であると判断し、報道の訂正を求める事案にはあたらないと考える。

類瀬 光信 議員

下水道からコロナウイルスを検出し予防対策としては

**問** 新型コロナウイルス感染者の糞便には、発症前からウイルスが存在する。このウイルスを高感度で検出する技術が実用化されようとしている。これにより、下水道普及地域や合併浄化槽利用施設などでの感染状況をいち早く把握できることになる。医療機関や高齢者施設の全員検査を公費で実施することが望ましいが、現実的ではない。この新しい技術により、正確な感染状況を把握し、効果的な感染防止策を講じる考えはないか。

**答** 公式な場面での発表がなく、詳細な情報がない。感染の傾向を知るといって有効かも知れない。ウイルスが検出された場合、どのようにそれを活かすかを真剣に検討しなければならない。現状は、具体的に考える段階ではない。

牛のウイルス感染症検査を継続し酪農畜産を守るべき

**問** 町内の乳牛預託事業は、頭数約6千頭、生産額は10億円超の規模となっている。北海道外からの預託が多く、各事業者は、ウイルス感染症対策として着地検査を徹底している。そうした防疫対策の柱であったNOSAによる検査事業が年度内で終了する。このことよって、適正な検査が行われなくなった場合の町内酪農畜産への悪影響が懸念される。町としてどのような対策を考えているか。

**答** 新年度から防疫アドバイザーとして獣医師を配置する。費用の問題から牛伝染性リンパ腫対策としては、ウイルスを媒介する吸血昆虫対策、初乳加温器の普及などが中心となる。以前、バルク乳検査を実施した際、町内にも相当数の感染農家が存在することがわかっていて、防疫アドバイザーをフルに活用し勉強会等も含めてソフト面の対策を強化したい。

渡邊 定之 議員

介護職員の待遇改善で人材確保を

**問** 介護職員の採用予定数の確保はできたのか聞く。高校を卒業したばかりで運転免許もなく、当面通うのに不都合な条件の人の採用は、難しいのか。

介護職員の不足が言われている中、とりわけ若い人材が確保できる環境整備が必要ではないか。例えば、住宅の確保、各種免許取得のための時間的保障、支援などを考えられないか。

意欲ある若い人が住宅がないため、本町で働けない場合がある。住宅等の支援はないのか。



**答** 新年度やすらぎ園の介護員正職員の募集はしていない。会計年度任用職員の新たな応募は現時点では出てきていない。

職員住宅は、うまっついていて余裕がない。会計年度任用職員の賃金では民間の住宅の家賃を払うということはないかと思う。通勤手当は支給することはできる。居住地を限定して採用するということはない。

きめ細かな除雪対策で安全なスクールバスの運行を

**問** 今年の積雪は今のところ少なく、吹雪も例年と比べると少ないと感じているが、虹別のようなどころでは地吹雪による道路条件の急な変化がある。スクールバスの運行の苦勞を聞くと、除雪に対する対応はもっときめ細かにするべきと思うがどうか。また、ミルクローリーの場合はどうか。

道路標識が破損やはげ落ちている所もあるが、その対応はどのようにしているか。



**答** 虹別地区は地吹雪など大変な状況なので、スクールバス運行時間の30分前に除雪をスタートするようにしている。下校時間に変更があった場合にも同様な対応をしている。関係者で運行会議をしているが、天候急変の場合スクールバスの先導をして安全な運行を心がけている。

ミルクローリーの関係では、農協などから要望があった。今年度からミルクローリーがきちんと運行できるようにしている。

道路標識の破損については、パトロールをしているが、数が多いので手が回らない面がある。



虹別を走るスクールバス

長尾 式宮 議員

**町内循環バスの再開は**

**問** 町内循環バスの再開は予定しているのか

**答** コロナウイルスの状況を見て今季再開する予定である。

対象者については、70歳以上又は障がい者の人、運転免許を返納した人、歩行の困難な人の付き添い者、妊産婦、小学生未満も対象であるが有料としている。

なお、一昨年度、トレーニングセンターの乗客がなかったため、トレーニングセンター前の停留所を廃止とした。また、1日6便だったが、7便とし運行をする。

**町立病院への電子カルテ早期導入を**

**問** 町立病院への電子カルテを早期に導入すべきではないか。

**答** 予算の兼ね合いもあるが、メリット・デメリットを研究の上、検討していきたい。

松下 哲也 議員

**寄贈農機具の整備状況は**

**問** 農業文化財再生振興事業で、寄贈農機具の整備が行われているが、現在までの整備の実績はどうか。

また、価値観が多様な中で整備する機種の選定はどのような形で行われているのか。当然すべてを整備するのに限界がある中で今後の取り組みはどうか考えていくのか。

**答** 令和元年から2台整備している。平成30年度に町内農機具メーカーで作る釧路地区機械化協議会に於いて、歴史上の価値と安価な修理費を優先順位に選定された。過去に4台整備しており、今年度を含めると7台になるので、展示方法と活用について検討し、事業を再構築していきたい。



寄贈されたトラクター

**ニューホーム推進事業の取り組みは**

**問** 昨年からのコロナ禍の中でのニューホーム推進事業の実施状況はどうだったか。今年度の取り組みに対し今の若い世代の気質、多様な感性を考慮した中で取り組んではどうか。

**答** コロナ禍の中で、対面交流事業は難しい状況であった。その中で、スマートフォンを活用したオンライン交流事業を展開し、4名が参加した。新年度も参加者の意見を聞きながら事業に取り組んでいく。

黒沼 俊幸 議員

二本松橋はいつ完成するのか

**問** 昨年、道々塘路・久著呂線が不通になった。その原因は釧路川にかかる二本松橋が、大水で決壊したことによって現在まで通行が禁止されている。この二本松橋の新しい橋の架橋計画はどの様に進んでいるか。

また、塘路で川下りが盛んにおこなわれているが、この日本松橋のどこかにカヌーの発着場が必要だと聞いている。発着場は作るのか。

**答** 二本松橋の復旧について、すでに現在、古い橋の上部の解体工事は、発注済みであると聞いている。その後4月に基礎の部分の発注、7月頃上部の製作工事の発注、10月頃から両側の基礎の撤去工事を発注する計画で、令和4年12月中の開通を予定すると聞いている。

カヌーの発着場は上流左岸に仮設のカヌーポートをつくり、利用している。工事期間中にも使用できる。橋ができた後にはスガワラの発着場を利用できる。

定員どおり100名のやすらぎ園運営を

**問** 行政報告を見ると、今やすらぎ園には77名の入所者がいるということだが、介護職員不足で、どこまで入所者が少なくなるのか心配している。現状はどうなっているか。また、待機者の人数は何人か。

定員100名の特養なので、フル回転するべきとみな思っている。特養サテライト、介護医療院の活用について連携した検討をしているということだが、この協議は進んでいるか。

**答** 入所者は、介護員不足のため制限をしている。在籍者80名を目標に業務を行っている。令和2年度で78名である。在園者は69名で入院している人がいる。

待機者は、令和2年11月で、要介護3以上の合計が70名である。

介護医療院の開設については、検討してきたが、結果として今より職員数を20名から30名増員しなければ運営できない状況である。費用面でも人件費1億円がかかり、現時点では難しいと考えている。

※介護医療院とは

平成30年4月より創設されることとなった「介護医療院」は、長期的な医療と介護のニーズを併せ持つ高齢者を対象とし、「日常的な医学管理」や「看取りやターミナルケア」等の医療機能と「生活施設」としての機能とを兼ね備えた施設です。  
(厚生労働省)

鈴木 裕美 議員

勤労者会館の運営は労働政策の一環ではないのか

**問** 勤労者会館内を事務所としている2団体の使用料が大幅に増額しているが、内訳と積算の根拠を聞か。

町長の執行方針でも冬季雇用対策がうたわれている。第5期総合計画の素案にも季節労働者の生活安定を図るとうたっている。

労働団体は、バスターミナルや多和平観光物産施設とは違い、営利目的ではない。歴代町長も労働政策の

一環として支援をしてきたから、監査委員も触れてこなかったし、現行の料金を維持してきたのではないか。

再考の考えはないか。

**答** 他の施設同様に、平方単価に面積をかけた。

監査委員の指摘もあり、社会通念上で増額した。



勤労者会館

地元食料品店にも乗降場所を

**問** 巡回バスの乗降場所に、調剤薬局や地元の食料品店なども追加してはどうか

**答** 地元食料品店の乗降は検討する。

### 除菌用消毒薬の配置を

**問** 公共施設のトイレに、便座用除菌消毒薬の配置をするべきではないか。

**答** 各課で消耗品予算があるので、それに対応する。



### ワクチン接種に訓練を

**問** 新型コロナウイルスワクチン接種の訓練はしないのか。

**答** 接種に係るスタッフはプロなので考えていない。

## 第一回臨時会

(令和3年2月5日)

2月5日、第一回臨時会が開催されました。

#### ▼専決処分 報告第1号

専決処分は、いずれも昨年12月に発生した町保有車両の交通事故の処理についてです。

1件は12月24日に発生した農協前の事故で軽微な事故でした。損害の賠償額は、3万5,062円でした。もう1件は、12月26日発生した町のワゴン車が側突された事故で、責任は町側が15%、相手側が85%の内容でした。町の損害の賠償額は、1万8,581円でした。

#### ▼議案第1号

議案第1号は、「土地の取得について」です。

サルボ展望台周辺の山林等約443万㎡の土地の取得に関する案件です。サルボ展望台周辺の土地は、本州の方が所有する土地でしたが、環境保全のため今回町が取得することになりました。相手側とはこれが

ら契約に入ります。取得予定価格は、約9,818万円です。



土地の購入サルルンザルボ展望台周辺

#### ▼議案第2号

「標茶町ふるさと寄付基金条例の制定について」、ふるさと条例により寄附された寄附金を適正に管理し、寄附者の意向を反映した施策に活用するため条例を新たに設置するものです。

そのほか、補正予算が提案されました。ふるさと納税が1億円を超えたので記念品900万円、手数料300万円の増額、新型コロナウイルスワクチン接種のための準備とし

## 第二回臨時会

(令和3年3月23日)

て412万8千円が増額されました。本町に提供されるワクチンは、ファイザー社製で、ふれあい交流センターでの集団接種となる見込みです。総額1,612万8千円の追加補正でした。

3月23日、第二回臨時会が開催されました。「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」の実施計画が主な内容でした。国の第3次補正に対応して、コロナ禍で生じた経済対策や予防対策が主なものです。

#### ▼専決処分 報告第2号

新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業補助金として、100万円が追加補正されました。

#### ▼議案第31号～33号

第1回定例会で提案された介護保険に関する条例の一部改正の中に、町と記するところが市となっていたので訂正したものです。



▼議案第34号

標茶町新型コロナウイルス感染症対策基金条例の一部改正

中小業者貸付利子補給の期限が令和8年3月31日だったものを1年延ばして令和9年3月31日としたものです。

▼議案第35号

一般会計補正予算

コロナ禍に対する国の第3次補正予算による地方交付税、国庫支出金を、町の施策に具体化したものです。1億1103万2千円の追加補正です。

主なものは、予防費2738万円、千円、商工振興費の4732万円、観光費3980万円などですが、新型コロナウイルスに対する予防や中小業者応援にあてられます。

また、地域おこし協力隊の勤務がフルタイムからパートタイムになったことにより、一般職級など1334万5千円が減額補正されました。

条例の一部改正

議案第3号

国民健康保険条例の一部改正

「新型コロナウイルス」を「病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス（令和2年1月に、中華人民共和国から世界保健機構に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る）であるに改めました。

議案第4号

乳幼児等医療助成事業に関する条例の一部改正

第6条中「又は組合員証」を「等に改めました。（マイナンバーカードが利用可能になった）」

議案第5号

標茶町重度心身障害者及びひとり親家庭等の医療費の女性に関する条例の一部改正

第7条中「又は組合員証」を「等に改めました。

議案第6号

標茶町職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正

平成11年から改正していなかった夜間業務手当の増額をしました。（看護約860万円、介護約700万円弱）

- ①看護師又は准看護師1回につき7000円以内を1万2000円以内に5000円増。
- ②看護補助者5200円以内を8900円以内に3700円の増。
- ③介護者5200円以内を8900円以内に3700円の増。

議案第7号

標茶町印鑑条例の一部改正

印鑑登録証の交付等を制定しました。

議案第8号

標茶町手数料徴収条例の一部改正

存在していない証明の「生存又は死亡の証明」「家族親族に関する証明」を削除し、「印鑑登録証の再交付手数料200円」を加えました。

議案第9号～13号

介護保険条例の一部改正

議案9号～13号一括提案

今年度から3年間第8期になることから、主に介護保険料が変わりました。保険料は、所得に応じて9段

階に分かれますが、第5段階が基準額となつています。第5段階は、年額6万7100円で、1600円下がりました。

議案第14号

標茶町事務分掌条例の一部改正

各課の事務分掌に次のものをそれぞれ加えました。

- 総務課—デジタル化の推進に関すること
- 企画財政課—ふるさと納税に関すること
- 管理課—契約に関すること
- 建設課—町営住宅に関すること

議案第15号

特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

予防接種健康被害調査委員会を新たに設置し、委員の報酬を、1回1万6900円としました。

委員は、釧路市医師会が推薦する医師2名、北海道知事が推薦する医師1名、釧路保健所長1名です。